

事業報告書

第5期

自 平成29年4月1日
至 平成30年3月31日

特定非営利活動法人富士山の森を守るホシガラスの会

静岡県御殿場市中畑1691番地の14

平成29年度事業報告

1. 事業の実施に係る事項

1) 富士山に残されている天然林を保全、活用する事業

《事業》 植生防護柵の点検、周辺部の食害調査

《目的》 国有林に設置した7基の柵の点検および修復、植生復元状況確認など

《実施日》 5/1・5/12・5/16・7/6・9/11・9/19・11/6・11/7

《内容》 破損等の点検、ステーの緩み修復、倒木除去、植生回復状況の確認と記録
周辺地域の食害状況の目視調査、写真撮影による記録

《事業》 国有林南山林道付近への植生防護柵設置

《目的》 森林の植生を保護

《実施日》 4/23(設置位置計測)・10/27(設置)・11/21(支柱補強)

《内容》 静岡森林管理署、常葉大学環境防災研究所、常葉学生と協働で設置(約20名)

《事業》 常葉大学環境学習支援・樹皮防護ネットの設置

《目的》 ニホンジカによる樹皮被食のため多発している立ち枯れを防止

《実施日》 4/15・4/23・11/10

《内容》 静岡森林管理署、常葉大学と協働で実施

須山口下山歩道で防護が必要な樹木の確認作業、常葉大学新生の環境学習および森林保全活動体験、旧須山口周辺部でネット設置・修正作業を実施(約120名)

《事業》 植生防護柵の毎木調査と植生調査

《目的》 植生防護柵の効果を検証

《実施日》 9/11(須走口)

《内容》 調査者・元静岡県環境調査委員会植物部会会員佐藤孝敏氏(他7名)

2015年に須走口馬返し付近に設置した植生防護柵の毎木調査および、柵外に1箇所、柵内に2箇所のコドラートを設定し、植生調査を実施

《事業》 植生防護柵の実生調査

《目的》 植生防護柵の効果を検証

《実施日》 9/19(須山口)

《内容》 調査者・勝又幸宣、山田辰美氏(常葉大学)

2014年に設置した4基の植生防護柵の外と中に1㎡のコドラートを設定し、実生数の調査を実施

《事業》 センサーカメラによる動物調査

《目的》 動物の生息調査およびニホンジカの活動を通年調査

《実施日》 電池およびメモリー交換作業 5/1・5/12・5/16・6/17・6/19・11/6・11/21・11/24

《内容》 御殿場市、裾野市、富士市、小山町の国有林にセンサーカメラを設置し動物調査を継続

3) 富士山の森林で過去に失われた生物多様性を復元し、水源涵養力を保全するための事業

《事業》 国有林の富士山クラブ西白塚ウラジロモミ人工林の混交林化計画
NPO法人富士山クラブと協働で実施

《目的》 人工林を天然林に復元するための実験

《実施日》 9/27・10/26・10/30

《内容》 現地確認・計測および撮影位置の決定・全天撮影
伐採箇所の伐採前における全天撮影
伐採作業はNPO法人富士山クラブが実施 11月～

3) 地域の環境教育に富士山の自然環境を活用する事業

《事業》 常葉大学環境学習支援 静岡森林管理署と協働 1)と同時に実施

《目的》 森林についての理解を深める

《実施日》 4/15(下見)・4/23・11/10

《内容》 常葉大学新入生の環境学習で講師を担当。(約100名)
常葉大生の森林学習 (約20名)

《事業》 自然観察会

《目的》 それぞれの地域ごとの自然環境を理解する

《実施日》 7/6(東白塚)・8/2(幕岩遊歩道と双子山森林限界) 調査兼 講師 佐藤孝敏氏
9/30・10/14 キリン・ランドネ「水をめぐる森の教室」で講師を担当(約50名)
10/22(御殿場市環境課主催・富士さんぽ～魅惑的な富士を知ろう～ 講師を担当)

《内容》 活動区域の森林、森林限界、地質、植生防護柵見学
10/22は雨天のため樹空の森でセミナーを実施

《事業》 環境教育フィールドの整備

《目的》 水ヶ塚～東白塚遊歩道の再開

《実施日》 8/21・11/15

《内容》 静岡森林管理署、関係自治体、富士山自然休養林保護管理協議会と現地調査を実施

《事業》 パネル展示

《目的》 森林保全活動の重要性と意義の啓発

《実施日》 4/1～(小山町文化会館) 6/17～(玉穂ふれあい文化展) 7/22～(ふらっと展)
8/11(BE-ONEおもてなしサロン) 10/29(わくわくごてんばフェスタ2017)
3/5(須走富士山巡拝の道フォーラム・会場須走小学校 約120名)
青少年交流の家など

《内容》 「富士山の森と生物多様性」をテーマのパネルを展示

4) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

《事業》講演会

《目的》演題「御殿場口の自然環境と課題」

《実施日》5/27 (於：市民交流センターふじざくら ボランティアビューロー)

《内容》佐藤 一(明治大学) こどもの自然

勝又幸宣(ホシガラスの会) 森の再生と先人たちの森づくり

菅 常雄(ホシガラスの会・日本野鳥の会) 自然環境と野鳥の生息域

《事業》静岡県愛鳥のつどい 野鳥保護活動報告

《目的》演題「富士山の森と野鳥のはなし」

《実施日》10/28 (於：静岡県庁)

《内容》富士山の野鳥に関する過去の資料と天然林を復元する意義について講演 (報告)

《事業》御殿場口雪代堆積地の生物多様性保全

御殿場市市民協働型まちづくり事業(御殿場市環境課)として3年間の完結

《目的》御殿場口の自然環境保全・帰化植物・侵入植物の駆除

《実施日》5/22(調査)・6/19(調査)・8/2(調査)・8/5(新入植物駆除活動)・8/9(調査)
9/3(調査)・10/10(調査)・11/6(調査)

《内容》御殿場小山ボーイスカウトによる侵入種駆除活動で指導を担当

冊子「富士山御殿場口の自然環境と課題」(A4 68ページ)を作成

1000部印刷し、年度内に約900部を配布

《事業》地元企業の生物多様性プロジェクトに協力

《目的》環境学習フィールドの創出

《実施日》4/24(野鳥調査)・6/14～(センサーカメラによる動物調査)

《内容》日立ハイテクサイエンス小山事業所のJFEP認証生物多様性プロジェクトを支援

《事業》富士山国有林小山町借受地の自然環境調査

《目的》環境教育のフィールドとしての調査

《実施日》6/12(植物相調査 佐藤孝敏氏)・6/17～(センサーカメラによる動物調査)

《内容》植物相と動物の生息状況を確認し、今後の活用方法を検討

※ 活動の中で作成した冊子などはホームページで公開している。

2. 総括

冊子「富士山御殿場口の自然環境と課題」の作成と配布により、富士山の自然を理解した上で環境活動を行なうことの重要性を啓発することができた。

活動が充実、進展し、報道、情報発信により当会への理解が進んだ。

活動記録写真



《2017年3月31日～4月11日》 富士山の自然パネル展 小山町総合文化会館
知られざる富士山の森・富士山南東斜面・富士山の野鳥・動物調査・御殿場口雪代堆積地の侵入植物
ハンドブック「御殿場口雪代堆積地の侵入植物」「富士山学習シリーズ(1)」および活動紹介



《2017年4月23日》 常葉大学社会環境学部平成29年度新人キャンプ（須山口）ホシガラスの会による緑陰トークと樹皮防護ネットを80本の樹木に設置



《2017年5月27日》講演会「御殿場口の自然環境と課題」を御殿場市市民交流センターふじぎくらで実施



《2017年6月17・18日》 玉穂ふれあい文化展 パネル展示 玉穂報徳会館区民ホール



《2017年6月19日》 御殿場口周辺の森林限界調査



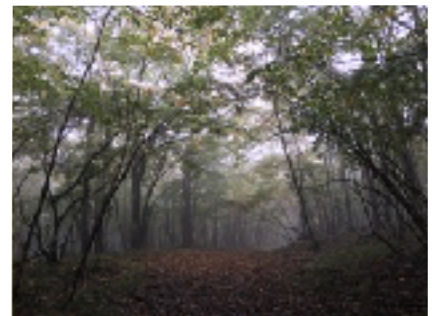
《2017年8月9日》 御殿場口周辺の森林限界調査
植栽が行われていない場所の植生調査と自然環境調査(野鳥)でゴミが野鳥に与える影響をあらためて確認



《2017年9月11日》 須走口の植生保護柵(防鹿柵)の調査 毎木調査とコドラートによる植生調査



《2017年9月19日》 須山口の植生保護柵(防鹿柵)の調査 実生数の調査と柵の効果を確認



《2017年9月30日・10月14日》 キリン・ランドネ 水をめぐる森の教室に協力



《2017年10月10日》 御殿場口植物相調査 新たに3種の新入植物を確認



《2017年10月26日》 NPO法人富士山クラブと協働で富士山クラブ協定林の伐採箇所を計測



《2017年10月27日》 静岡森林管理署、常葉大学と協働で8基目の植生保護柵設置を設置



《2017年10月28日》 静岡県愛鳥のつどいで活動報告



《2017年10月29日》 わくわくごてんばフェスタ2017でパネル展示



《2017年10月30日・11月1日》 西白塚ふれあいの森混交林化実験 全天撮影と伐採(富士山クラブ)



《2018年2月15日》 冊子「富士山御殿場口の自然環境と課題」完成 年度内に約900部を配布

特定非営利活動法人富士山の森を守るホシガラスの会
〒412-0006 静岡県御殿場市中畑1691-14
TEL 0550-89-6905 FAX0550-73-0434
ホームページ <http://hosigarasu.org>
Eメール info@hosigarasu.org

決算報告書

第5期

自 平成29年 4月 1日

至 平成30年 3月31日

特定非営利活動法人富士山の森を守るホシガラスの会

静岡県御殿場市中畑1691番地の14

貸借対照表

特定非営利活動法人富士山の森を守るホシガラスの会

[税込] (単位: 円)

平成30年 3月31日 現在

《資産の部》	
【流動資産】	
(現金・預金)	
現金	40,197
普通預金	229,883
現金・預金計	<u>270,080</u>
流動資産合計	<u>270,080</u>
資産合計	<u>270,080</u>
《負債の部》	
【流動負債】	
前受金	<u>6,000</u>
流動負債合計	<u>6,000</u>
負債合計	6,000
《正味財産の部》	
前期繰越正味財産	324,679
当期正味財産増減額	<u>△ 60,599</u>
正味財産合計	264,080
負債及び正味財産合計	<u>270,080</u>

財 産 目 録

特定非営利活動法人富士山の森を守るホシガラスの会

[税込] (単位: 円)
平成30年 3月31日 現在

		《資産の部》	
【流動資産】			
(現金・預金)			
現 金	40,197		
普通 預金	229,883		
ジャパンネット銀行	(8,427)		
静岡銀行御殿場支店基金口座	(479)		
静岡銀行御殿場支店	(220,977)		
現金・預金 計	<u>270,080</u>		
流動資産合計		<u>270,080</u>	
資産合計			270,080
《負債の部》			
【流動負債】			
前 受 金	<u>6,000</u>		
流動負債合計		<u>6,000</u>	
負債合計			<u>6,000</u>
正味財産			<u>264,080</u>

活 動 計 算 書

[税込] (単位: 円)

特定非営利活動法人富士山の森を守るホシガラスの会 自 平成29年 4月 1日 至 平成30年 3月31日

【経常収益】		
【受取会費】		
正会員受取会費	81,000	
一般会員受取会費	63,000	144,000
<hr/>		
【受取寄付金】		
受取寄付金		431,800
【受取助成金等】		
受取補助金		300,000
【その他収益】		
受取 利息	6	
雑 収 益	17,958	17,964
<hr/>		
経常収益 計		893,764
【経常費用】		
【事業費】		
(人件費)		
人件費計	0	
(その他経費)		
諸 謝 金	50,000	
印刷製本費(事業)	273,661	
旅費交通費(事業)	112,900	
通信運搬費(事業)	28,800	
消耗品 費(事業)	224,957	
水道光熱費(事業)	180,000	
賃 借 料(事業)	9,592	
<hr/>		
その他経費計	879,910	
事業費 計		879,910
【管理費】		
(人件費)		
人件費計	0	
(その他経費)		
会 議 費	3,776	
通信運搬費	5,359	
消耗品 費	53,310	
保 険 料	10,250	
支払手数料	1,758	
<hr/>		
その他経費計	74,453	
管理費 計		74,453
経常費用 計		954,363
当期経常増減額		△ 60,599
【経常外収益】		
経常外収益 計		0
【経常外費用】		
経常外費用 計		0
税引前当期正味財産増減額		△ 60,599
当期正味財産増減額		△ 60,599
前期繰越正味財産額		324,679
次期繰越正味財産額		264,080

特定非営利活動に係る事業会計損益計算書

特定非営利活動法人富士山の森を守るホシガラスの会

[税込] (単位: 円)

平成29年 4月 1日 至 平成30年 3月31日

【経常収益】		
【受取会費】		
正会員受取会費	81,000	
一般会員受取会費	63,000	
【受取寄付金】		
受取寄付金	431,800	
【受取助成金等】		
受取補助金	300,000	
【その他収益】		
受取利息	6	
雑収益	17,958	
経常収益計	893,764	893,764
【経常費用】		
【事業費】		
(人件費)		
人件費計	0	
(その他経費)		
諸謝金	50,000	
印刷製本費(事業)	273,661	
旅費交通費(事業)	112,900	
通信運搬費(事業)	28,800	
消耗品費(事業)	224,957	
水道光熱費(事業)	180,000	
賃借料(事業)	9,592	
その他経費計	879,910	
事業費計	879,910	879,910
【管理費】		
(人件費)		
人件費計	0	
(その他経費)		
会議費	3,776	
通信運搬費	5,359	
消耗品費	53,310	
保険料	10,250	
支払手数料	1,758	
その他経費計	74,453	
管理費計	74,453	74,453
経常費用計	954,363	954,363
当期経常増減額	△ 60,599	△ 60,599
【経常外収益】		
経常外収益計		0
【経常外費用】		
経常外費用計		0
税引前当期正味財産増減額		△ 60,599
当期正味財産増減額		△ 60,599
前期繰越正味財産額		324,679
次期繰越正味財産額		264,080

財務諸表の注記

特定非営利活動法人富士山の森を守るホシガラスの会

平成30年 3月31日 現在

【重要な会計方針】

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

- (1). 棚卸資産の評価基準及び評価方法
—
- (2). 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産：—
無形固定資産：—
- (3). 引当金の計上基準
貸倒引当金：—
賞与引当金：—
退職給付引当金：—
- (4). 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理 —
- (5). ボランティアによる役務の提供 —
- (6). 消費税等の会計処理 —

【会計方針の変更】

【事業費の内訳】

事業費の区分は以下の通りです。

[税込] (単位：円)

科目	全事業所	合計
(人件費)		
人件費計	0	0
(その他経費)		
諸 謝 金	50,000	50,000
印刷製本費(事業)	273,661	273,661
旅費交通費(事業)	112,900	112,900
通信運搬費(事業)	28,800	28,800
消耗品 費(事業)	224,957	224,957
水道光熱費(事業)	180,000	180,000
賃 借 料(事業)	9,592	9,592
その他経費計	879,910	879,910
合計	879,910	879,910

【施設の提供等の物的サービスの受入の内訳】

[税込] (単位：円)

内容	金額	算定方法
—		

【活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳】

[税込] (単位：円)

内容	金額	算定方法
—		

【使途等が制約された寄付等の内訳】

[税込] (単位：円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
—					
合計					

【固定資産の増減内訳】

[税込] (単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
—						
合計						

【借入金の増減内訳】

[税込] (単位：円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
—				
合計				

【役員及びその近親者との取引の内容】

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

[税込] (単位：円)

科目	財務諸表に計上された金額	内役員及び近親者との取引
(活動計算書)		
—		
活動計算書計		

【その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項】